

四国四県で団体ヒアリングを実施

10月31日
11月1日
愛媛県本部
【松山市】



11月14・15日
高知県本部
【高知市】



10月24・25日
香川県本部
【高松市】



10月17日
徳島県本部
【徳島市】



石田のりとし TIMES

生活に直結、政治を実現

日頃より公明党に対しまして、温かいご理解、力強いご支援を賜り、心より感謝申し上げます。昨年、コロナに終始した一年となりました。今年こそは収束させ、日常に戻るよう全力を尽くしてまいります。ワクチン、治療薬が何より重要です。日本独自の開発は難しい面があり、海外で開発されるワクチンを確保し、希望者全員が接種できるよう、体制を整えてまいります。

感染拡大防止を第一に、社会活動、経済活動も考えていかねばなりません。政権復帰後、経済面、雇用面で一定の成果はあげてきましたが、コロナ禍で大変厳しい状況になっております。

昨年末、コロナ禍の克服のため、公明党の主張も取り入れ事業規模73.6兆円の経済対策を決定しました。今後、第3次補正、令和3年度当初予算とあわせて取り組んでまいります。新型コロナウイルス感染拡大防止とともに防災・減災、国土強靱化の予算も措置されます。私、昨年9月の党大会で党副代表に選任され政務調査会長を退任致しました。5年間大変お世話になりました。立場は変われど、本年も全力で働いてまいります。今後ともよろしくご願ひ申し上げます。

発行／公明党衆議院比例区四国第1総支部
〒781-8010
高知市棧橋通1丁目7-2中村ビル2F
TEL.088-805-0607 FAX.088-805-0608



2021年(令和3年)
1月 / vol.14

四国各地で街頭演説

全世代型社会保障制度を進めると力説する
石田衆院議員(中央)
=1月4日 徳島市



核廃絶を訴える石田衆院議員と山崎まさやす教育改革推進本部事務局次長(右)=8月15日 南国市



新型コロナ対策と経済活動の両立を進める決意を述べる石田衆院議員
=9月6日 東温市



「成人の日」街頭演説で、新成人にエールを送る石田衆院議員(中央)
=1月12日 高松市



横瀬川ダムを視察する赤羽国交相(左から3人目)、石田副代表(同2人目)=11月22日 高知・宿毛市

プロフィール



石田 祝稔 いしだ のりとし

生年月日／昭和26年9月1日
家族構成／妻と一男二女

- 昭和26年 高知県高知市生まれ 高知市立旭小学校、西部中学校卒業 高知県立高知追手前高等学校卒業
- 昭和45年 創価大学大学院修士課程修了
- 昭和54年 東京都職員となり福祉の現場で働く
- 平成 2年 衆議院議員 初当選
- 平成5年、15年、17年、21年、24年、26年、29年 衆議院議員当選 現在8期目

国会・政府役職

- ・経済産業委員長
- ・大蔵政務次官
- ・厚生労働副大臣
- ・農林水産副大臣を歴任

所属委員会

- ・総務委員長

公明党役職

- ・副代表
- ・四国方面本部長
- ・働き方改革実現推進本部長
- ・人生100年時代構想本部長

昨年9月、次期（第49回）衆院議員総選挙の四国比例区
 予定候補として公認決定した山崎正恭党教育改革推進本部
 事務局次長（高知県議会議員）に決意をお聞きしました。

生徒理解のために 臨床心理学を学ぶ

石田 中学校教師として24年間勤められました。教師を目指したきっかけは、**山崎** 中学校の担任の先生が、きっかけです。授業は面白い、厳しいけどあたたかい、愛情がすごかったです。やんちゃな生徒もたくさんいましたが、その生徒たちにも、ダメなこととはダメと言える先生でした。「私もこんな教師になりたい」と中学3年生の時に決意しました。

石田 国立鳴門教育大学大学院に留学を決意した理由は、**山崎** 生徒をもっと理解したい、発達障がいや心の問題を抱えた子どもたちのことを、理解したいと思い、臨床心理学を学ぶため、鳴門教育大学大学院に留学しました。**石田** なぜ、臨床心理学を学ぶと思ったのですか。

心の教育センター 運営拡充を推進

石田 高知県議会議員として不登校の児童・生徒を支援する、「心の教育センター」の運営拡充に取り組んだとお聞きしました。

山崎 一昨年の、統一地方選挙において、たくさんの方々のご支援で、高知県議会議員に初当選させて頂くことが出来ました。高知市に開設している、「心の教育センター」は、高度な専門性を持った臨床心理士の相談支援が受けられる機関です。これまで、月々金曜日と第2土曜日しか開所しておらず、県の広さや共働き世帯の保護者が多いことを考えると、通所したくてもできないケースが多くありました。

一昨年、6月定例会の初質問で土曜日・日曜日の開所を訴えた結果、2020年度から日曜日も開所することになりました。さらには、2021年度から土曜日の開所も試行的に行う予定です。

今後も子どもたちが安心して学べる社会をつくるため、全力で取り組んでまいります。

山崎 生徒指導の担当になった最初の頃は、教師に対して向かってくる子どもたちが多くいましたが、平成10年代に入ると、そういう生徒は減り、発達障がいや心の問題で悩んでいる生徒が多くなり、学校生活に不応を起しているケースが増えてきました。時代が変わっているのを感じました。

そんな中、臨床心理士の先生との出会いが大きな転機となりました。その先生は、私たち教師とは違う視点で、子どもたちの問題行動の根底にある原因について、助言をくれました。「目からうろこ」でした。「なるほど、そういう理由で、あの子は、あのような行動を取っているのか」と思うと、自然と生徒に優しくなれました。その先生のように、生徒を理解できる視点を持ちたいと、臨床心理学を学ぶことを決意しました。

一人ひとりに 寄り添う教育を

石田 国政で取り組みたい政策は。

山崎 教師時代の経験を活かし、まず、教育改革に取り組んでいきます。特に、不登校問題については、少子化が進んでいるにもかかわらず、不登校生は増え続けています。政府も様々な取り組みを進めていますが、改善していかないのが実情です。学校に通えない生徒一人ひとりに寄り添った丁寧な支援ができる教師や学校を増やしていく体制を、国全体でつくっていくことが重要と考えます。

また、発達障がいの子どもたちの支援にも取り組んでいきたいです。発達障がいの子どもたちは、周囲の理解が得られず生きづらさを感じている場合が多く見られます。二次障害として、不登校やひきこもり、うつ等を起こさせないためにも、学校現場、社会での発達障がいへのさらなる理解が、必要だと痛感しています。一人ひとりが、その個性や能力を生き生きと発揮できる社会づくりを目指します。

公明党教育改革推進本部事務局次長 高知県議会議員

公明党副代表 衆議院議員

石田 祝 稔 新春 対談 山崎 正 恭

教育委員会を経て 最年少の教頭に

石田 教育委員会ではどんな経験をされましたか。
山崎 5年間、主に、スクールカウンセラーの派遣や、子どもたちの能力を伸ばしていく「開発的な生徒指導」の推進、また、命に関わるような重大事案等が発生した時に、学校をサポートする、「緊急学校支援チーム」の担当もしていました。

石田 当時、高知県内で最年少の教頭に就任されたとお聞きしました。
山崎 教頭として、着任した時には、学校がたいへん荒れていましたので、悩んでいる生徒の中へ飛び込んで、信頼関係を築くと共に、教員への指導・助言も行いました。鳴門教育大学で学んだことを、教育委員会時代も、教頭としても活かすことができました。

新型コロナ対策と 経済の両立

石田 教育以外の政策は。
山崎 新型コロナウィルス感染拡大防止と社会・経済活動の両立に、最優先で取り組んでまいります。特に、四国の経済は、コロナ禍において厳しい状況が続いています。中小零細企業の雇用を継続できる、支援策や観光業、飲食業、それらを支える農林水産業への支援策も重要です。さらに、四国は高齢化が最も進んでおり、コロナ禍の中で、地域の医療・介護・交通手段等をどうやって守っていくかも考えなければなりません。デジタル化の推進、子育て支援の充実も含め、若者に住んでもらえるまちづくりを全力で進めていく決意です。

四国の課題、要望に 全力で応える

石田 最後に、国政に挑む決意をお聞かせください。
山崎 香川や愛媛、徳島、高知に足を運んで、四国の皆様のご意見、ご要望を真摯に聞いてまいります。そして、皆様のお声を国政に反映できるように、また、ご期待にお応えできるように、全力で取り組んでまいります。
石田 私も、四国の皆様のために、一緒に力を合わせて死力を尽くしてまいります。

プロフィール 山崎 正 恭

- 公明党役職
- 教育改革推進本部事務局次長
 - 地方議会局次長



- 出生
 ○昭和46年3月高知市生まれ
- 学歴
 ○浦戸小学校、南海中学校、高知小津高校卒業
 ○平成5年 私立中京大学卒業
 ○平成22年 国立鳴門教育大学大学院修了
- 経歴
 ○田野中学校、室戸中学校、野市中学校、安芸中学校勤務を経て、鳴門教育大学大学院に留学。大学院修了後、高知県教育委員会勤務を経て、野市中学校教頭に。
 ○平成31年 高知県議会議員初当選